

496

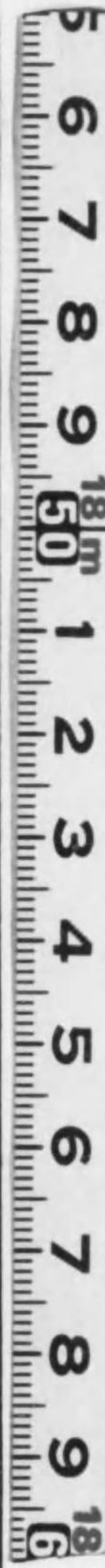
特247

736

のいパンフレット第十輯

事變處理と内治外交に關する

座談會速記録



始



出席者(順序不同)

外務省	岩田事務官	陸軍省	鈴木少佐	内務省	上村事務官	警視廳	青木課長	企劃院	竹本調査官	警視廳	中村課長	警視廳	平岡課長	憲兵隊	大西和夫
古閑義	持尾利久	佐橋尙政	白井爲雄	前川常夫	深澤源造	小笠原計三	高原淺一	松村正義	船生利重	永島文雄	柳町茂道	稻垣弘太郎	長谷川幸男	摺建克之	摺建克之

特247
736

鶴鳴莊綱領

一、吾人ハ皇祖肇國ノ神勅ヲ奉戴シ皇道ノ大義ヲ闡明シテ國魂

ノ精髓ヲ恢弘ス

吾人ハ皇室中心國家本位ノ政治ノ遂行ヲ期ス

吾人ハ自主ト正義ノ外交ヲ斷行シ以ツテ國威ノ發揚ヲ計

大日本主義ニヨル全亞細亞皇化ノ實現ニ努力ス

一、吾人ハ右ニ背馳スル主義主張行動ノ排撃ニ難ヲ避ケズ一死

以テ之ガ貫徹ヲ期ス



座談會速記録

目次

新政權成立の過程とその見透し	二
列國の新政權に對する態度	三
日本の國力と經濟機構の問題	四
新政府と重慶政府問題	七
現地方面の動向と齋藤問題	一〇
國民精神昂揚の方途と態度	一二
維新と革新の相異性	一五
三民主義是非論	一七
事變下左翼運動の潜行	一九
結 論	二一

序

本小冊子は、去る二月七日鶴鳴報社の主催で開かれた座談會速記の収録です。

座談會開催の趣旨、目的に就ては司會者が述べて居ります通り、聖戰早や三年、陛下の御稜威の下に皇軍は赫々たる武勳を樹て、居ります。

其の間、異域の地に散つた英靈と戰傷の將兵の方々に對しましては寔に感謝感激の外はありません。

尊嚴なる皇國の肇國の精神に基いて建設さるべき東亞新秩序の一環として、南京には汪精衛を中心として新政府が樹立されようとして居り、又この新政府を育成助長して日支永遠の提携を圖ることは我々國民の

責務であります。しかし、その反面を見ますと幾多の困難なそして憂ふべき事態があります。重慶にある容共抗日政權は第三國の援助に頼つて依然として抗戦をやつて居りますし、これがいつまで持續するか判りません。また英、米、ソ等の列國は皇國の東亞新秩序建設を經濟的、政治的に妨害するのみでなく、今や武力を以つて壓迫しつゝある状態であります。翻つて、國內問題を見ますると、歴代政府の秕政は國民に生活の不安を抱かせ、民精神の弛緩を招來させて居ります。事變解決のための外交政策や對内方策に就て眞に國民を納得せしめ得る確固たる信念がないのではないかと心ある人々が憂ふるのは無理もないことだと思ふのであります。

要は、責任當局が聖戰の眞義を明徴にして、それに則つた不變の方策で

國民と共に往く慷慨を示さなければこの曠古の大業は完成されないと思ひます。この曠古の大業を完成しないことは、若しくは完成するため、の道を拓かないことは、上陛下に對し奉り不忠の譏りを免れ得ないと共に、子々孫々の苦難を胎すことになります。こゝに現代の日本國民が果さなければならぬ大いなる責務があると思ふのであります。しかしてそれを果たすためにはどうしても軍官民が一體になつて突進しなければ絶對に出來ないことです。軍官民が一體になるのには軍官民の意志の疏通が第一だと信じ、その一助にもと考へまして、座談會を催うした次第であり、本冊子を刊行したような譯です。

意見を述べられた方々の用語の不備や羅列の不充分なことは馴れない速記と、編輯の責任でありますから、座談會開催の趣旨に免じて御寛容

願ひたいと思ひます。

尙ほ當日座談會に出席下さつた方々に對し改めて厚く御禮申上ます。

三月二十日

鶴鳴報社々長 摺建一甫

座談會速記録

司會者 摺建克之

司會者 主催者側を代表いたしまして一言御挨拶申上ます。本日は議會開會中御多忙にも不拘、微力な吾々の座談會に萬障御繰り合せて御出席頂き、厚く御禮申上ぐる次第であります。

就きましては、本座談會は如何なる目的のもとに開催いたしましたかといふ事を一寸申上たいと存じます。事變が進展して参りましたので一段階を劃し、それに伴つて支那にも親日防共の新政權が誕生するような状態になつて世間一般の人々が事變もこれで片付くのではないかといふような非常な樂觀氣分を抱いて居るよう見受けられるのであります。翻つて事實の半面を見ますに、國際状勢においても、國內状勢においても仲々に憂ふべき問題が山積して居るのではないかと考ふるのであります。對外關係におきましては、先づソ聯との問題、對英、對米等の案件など全く行き塞りの状態に來てゐるのではないか。御承知の如く、最近の淺間丸事件など、國民の輿論は硬化して居りますし、其の點政府當局におかれまし

ても十分心を置かれて對處策を講じて居られるのでありませうが、側面から見ますと實際と口とが伴はず、實質的には消極方針で行かれて居るのではないかといふ風に見られるのであります。眞に遺憾の次第と存じて居るのであります。亦國內問題にいたしましても、食糧問題、物價問題、燃料問題等幾多の憂ふべき問題があるのであります。就中端的に表はれて参りましたのが所謂齋藤問題であらうと存するのであります。こういう風に客觀的な状勢と現實問題を眺めまして國民が相當不安に陥つて居るのではないか、國民精神の弛緩、國民生活の不安が齋藤事變完遂への影響等考へますと實に寒心に堪えないものがあるのでございます。

そこで、私共日本主義運動者が今後如何なる心構へを持つてこの曠古の大事業たる支那事變の解決に邁進せなければならぬかといふ點に逢着したのであります。その點現在、内治、外交の重要部門に携はつて居られる方々からその立場々々の事柄につきまして御話を承はり

支那事變の根本的解決の方途と併せて今日勃興して居ります日本主義運動とのつながりを如何にするかといふ點につきましても腹藏なき御意見を承りたく存する次第であります。即ち只今申上りましたことが本座談會を開催いたしました趣旨で御座います。

つきましては、早速忌憚なき御意見の發表と、御質問に入つていただきたいと思ふのでありますが、矢張り話の中心であるものを定めなくてはならないと思ふのであります、そういふ意味合から、東亞の新秩序の一環たるべき、更生新中國の根幹たる新支那中央政權の件に關しまして、その工作の過程、及び現在の實情並びに將來の見透し等につきまして、鈴木さんに御話しを御願ひ申上たと思ひます。

鈴木少佐 私は何も知らずに来たのですが、私の話を中心にした座談會なんですか。

司會者 實は、事變處理を中心とする内治、外交問題に亘つて種々話し合つて見たいといふ趣旨から、先づその仕事に携はつて居られる方々のお話を先に御伺ひしていろいろ検討いたしたいといふ風に勝立しておる譯です。

●新政權成立の過程とその見透し

鈴木少佐 汪氏の政權の交渉といふものは、矢張りさう無間におぼえて居られる様に簡單なものじゃない、いろいろな経過を通つてきてゐるのですから。

司會者 まづ御記憶のあられる點、御話の出来る範圍について御願ひいたします。

鈴木少佐 それから一寸お伺しますけれ共、速記を、是は困るのですが、貴下方にも、なんと申しますか發表出来ない話と發表の餘地のある話と、その點困るのですがね。是は發表する話なのですか。

司會者 え、發表出来れば發表したいと考へて居ります。削除すべき點は削除し、亦悪いところは××や○○にしてでも發表いたしたいと考へて居ります。

鈴木少佐 それでは發表するのですね。

司會者 大體發表する方針であります。

鈴木少佐 御承知の様に、汪精衛の中央政權を設けるに至つたまでには、それは、永い間かゝつて今日迄来たのであります。近く新政權が生れるだらうと云ふのでございしますが、この新政權が生れて、確に是は事變處理の一つ

の段階に違ひない。それには違ひないけれ共、事變の目的といふものが、東亞新秩序建設を目的として居り、中央政權が出来たら、この東亞新秩序は出来たかと申せばさうはいかない。東亞新秩序建設はこれから先のことであり、そうした大きな仕事の一つの段階であると云ふ點は申して間違はないと思ふ。是は色々な見方がある。事變の目的は新東亞建設であり、そのためには今後二十年も、三十年も、四十年もかゝるかも知れない、それではあまり長すぎる。

そこで新東亞建設の基礎工作が出来、將來の上部工作が確實に出来るといふ見透しがついた時を以つて事變處理が考へられる。之がためにはどうしても今後、尠くとも五、六年はかゝるかも知れない、或は五、六年かゝつても駄目かも知れない。結局治安の恢復工作を中心として政治工作、經濟工作、文化工作もやらなければならぬ。經濟工作も局部的に進んでゐるのでなしに全體的にであり、そして大體現在の滿洲國に近い程度に治安を恢復するには何年かゝるか、是は滿洲事變の實例に徴して見ると判る。滿洲が昭和七年に出来たその時に、所謂敗殘兵や匪賊が約三十萬居つた。その三十萬の匪賊を討伐

し今日のような治安状態になつたのはどの位かゝつたか、それは約七ヶ年かゝつて居ります。今日では兵力は勿論、警察力も完備して居ります。その滿洲事變の工作の經驗が大變役立つて来た爲に、北支邊り相當治安が恢復されて居る。それは色々な障害も御ざいますが、面積も廣いし、兵力も澤山要る。金も餘計かゝる。それらの比例によつて見まするに、どうしても尠くとも五、六年はかゝるのではないかといふのが今日の一つの常識的な見方なのです。その様に、新東亞建設の土臺を植を付けるためにまあ、五、六年はかゝる。だから今は事變の解決でなしに、只事變の處理の一段階であるといふのが至當ではないかと思ひます。

●列國の新政權に對する態度

司會者 能く判りました。では外務省の岩田さんに一つ御願ひいたします。この新政權に對する、英・米・ソ列國の態度に就き御話し願ひたいと思ひます。

岩田事務官 まあ大體の見方から云つて、世界列國共新政權に對しては好意を持つて居ない。ことに米國あたりの最近の態度は、要するに日本に要求する處は爲替統制、

それから揚子江開放問題とか、さういふ風に具體的に表明された問題もありますが、列國の極東に對する要求はハッキリして居る。それは列國の新聞が報じて居るのである。その中最も突つ込んだことを云つて居る米國の新聞は、「日本が、支那に日本の勢力を築き、東亞新秩序建設が出来れば、日本のこの極東における國際的地位は非常に強くなる。現在の二倍も三倍も強くなつて来る。それでは困る。そうなる日本も強くなるしそれでは困る。日本の國力を抑へるのが米國の眞意である」ハッキリ言つて居る。米國としては極東政治は米國がどうして困る。之が反面解釋としては極東政治は米國がどうしても支配すると云ふ徹底した考へを持つて居る。處がもし汪政權が日本の東亞新秩序建設の一段階であるとすれば、汪政權に對しては絶對反對であることは勿論と考へられる。列國の態度はどうであるか、ソ聯も大分日本に對する考へは違つて來てゐるけれど、佛國邊りの共產系の新聞は結局米國と同様であると思ふ。矢張汪政權に對して贊成の態度は執つて居ない。獨逸は事變の當初までは相當好意的な態度を執つて居たが、最近では極東問題に對しては沈黙を守つて居る。要するに日本に對しては

沈黙主義に變つて居る。英佛國は今戦争を始めて居るから困つて居るし、表向日本に對して反對はして居ないが、要するに米國に物を云はせてゐると見てよい。蔭に隠れて米國に色々言はせて居るといつた形で、要するに同じ穴の貉だとしてよい、但し伊太利は違つて居る。それはチアノ外相から汪政權に對して、ハッキリした激動電報を發してゐる。結局獨伊兩國を除く世界諸國の新政權に對する態度は何れも否定的であります。

司會者 ようく判りました。先程の鈴木さんの御話、只今の岩田さんの御話を御伺ひすると、新政權樹立の治安工作等も五、六年かゝるのが常識的であり、亦第三國の動向は殆んど否定的であると云ふ風に考へられますが、しからばこの難關を突き進んで行くについて、現在の日本にそれだけの力があるか。この國力の問題については各種各様の見方もあり、また論ぜられて居る様であります。企劃院の竹本さんに出來るだけ詳細に亘つて御話し願ひたいと思ひます。

●日本の國力と經濟機構の問題

竹本調査官 色々御話を承つて居ると、今日日本には内憂

外患が來て居ると云ふことを痛感するのです。内憂外患と一概に申しますが、一體内憂外患のどつちが今日の日本により多く重大であるかと云ふことになりますと、私は外患も憂へなければならぬけれど、更に、大きな内憂の方を憂へなければならぬ段階になつてゐるのではないかといふ風に考へて居るのであります。——しかし、この内憂、是は色々政治的にも經濟的にも、各分野に亘つて考へねばならぬ問題でございます。今日の議會で物動といふことが問題になつて居りますが、それは單なる「字の問題ではありません。數字が大きすぎるとか、まだ不足であるとかの問題もありませんが、根本は、夫れだけの増産體制が出来て居るか、又それだけの消費規正の體制、消費の能率的編成が出来て居るかの問題ではないでしょうか。従つてさういふ點から一寸簡單に考へて申し上げますと、先づ經濟問題が結局中心になるのでありまして、而もそれは内閣の政治的性格と結びついた庶政一新の根本問題であります。今日の日本の戰時經濟の特質は、私考へまするに三點ある。その一つは臨時應急體制、二は營利主義經濟、それから三は分裂主義的な性格が餘りに大きいといふことであります。若干この三點

について説明を申し上げますならば、御承知のように、我が國の戰時經濟を最近まで引張つて來た根本法は、臨時資金調整法と輸出入品臨時措置法であります。御承知の通りこの二つの法律が日本戰時經濟體制の樞軸となつてゐたのであります。而も二つ共臨時といふ應急的法律であります。是はつまり、従つて長期的な體制にならないで臨時應急の體制であります。今日強く起つて居る議論は、この臨時性を撤廢しようぢやないかといふやうな議論と、又一方にはもう統制を廢めて、自由經濟の昔に還さうといふ意見が相當眞剣に叫ばれて居ります。私共の立場から申せば、強權統制を上から強くすることだけでは最早不十分であります。同時に自由放任の昔に逆轉することは絶對に不可能と確信して居ります。二つの法律が議會を通過したときある外國人は、民主主義の國でも之よりは氣の利いた法律を作るだらう、全體主義の國なら平時でも此の位の統制はやつて居ると批判しておりました。——次に營利第一主義であります。之に對立するものは御承知の通り公益優先主義だと思ひます。利潤を否定し、私益を無視せよと云ふのではありませんが、公益を優先せしめよと云ふのです。此の點は未だ未

だ努力すべき餘地が餘りに多いのではないかと思つて居ります。

御承知の石炭に對する助成金を出すか何うかの問題もありません。一般的に適正價格の名において、物價を引き上げるかどうかの問題もあります。要するに資本の利潤追求の建前をそのまま認めそれに屈從しながら國策を遂行するか、どうかの問題であります。御承知の通り増産問題に對して、例へば、重要礦物増産法といふ法律がありますが、しかしその法律は今日發動しておりませぬ。政府は國策の見地から生産目的を強行するために結局、奨励金、補助金といつたものによつて居るといふ點が多いのであります。補助金を出す、更に割引や免稅をするといふようなことばかりやつたのでは、この戦時經濟の大きな世帯を持つては行かれないと考へて居ります。——第三は分裂主義的な性格、是は最も致命的な傾向であります。日本は今日統制經濟、計畫經濟をもつて非常に飛躍し、それで進んで居りますが、その統制經濟、計畫經濟に對應する準備機構を充分に整備して居るかといふ點について私は非常に疑問を持つてゐる。今日電力制限といふことが大變な問題になつております。また石炭の問題

もありませんが、是等は要するに、生産・配給・消費の各過程において合理的な一元的な統制經濟に必要な基礎が整備されて居ないといふ點に、一番大きな矛盾があるのではないか、是は日本の計畫經濟、統制經濟を行ふ基礎條件としての統制機構が十分整備されてゐないと云ふことです。一體日本の生産力はどれだけあるか、勞務状態はどうか、是等の基本調査や、統制を行ふ基礎機構が整備されて始めて、計畫經濟はスムーズに行へるのであります。以上の三點が日本戦時經濟の一番大きな矛盾ではないかと考へて居ります。従つて、是は日本の國民がハッキリした自覺と認識を持つて臨み、また本當に革新的な長期建設の姿勢を執れば、是等の問題は速かに解決すべき問題であります。日本經濟界については未だ色々議論もありませうが、日本の經濟力は、日本現在の數字で測定すべきではありません。經濟力は統計學の問題ではなく、經濟學の問題であり、政治學の問題だと思ひます。日本の經濟力に就き、私は悲觀して居りません。悲觀すべきものはむしろ、日本の國民の持つ、日本の國家の持つポテンシャルな力を具體化する政策の貧困その點に一番大きな矛盾がありはせぬかと考ふるのであります。

す。簡單でありますがこの位で失禮いたします。

司會者 どうもいろいろとありがとうございました。ではこれから持を説いで御速慮なく御意見の交換を交はして頂きたいと思ひます。

●新政府と重慶政府問題

持尾利久 一寸御訊ね致します。話しは少し後戻りしますが、先程岩田さんが申されました汪政權に對する世界列強の批判は一般に悪いと云ふ御話でありますし、一般國民の間にも、中央政權といふものに對して相當疑問が持たれて居ります。それは果して東亞新秩序建設といふ線に添つてゐるか、汪兆銘が現在樹立しようとする中央政權の基礎といふような點に疑惑があるようであります。しかしなんといつても現實に之を支持するのが日本の國策であり、また協力すべき目標でなければならぬのであります。是は出来るだけ日本の東亞新秩序建設の線に副ふように成育することが必要であると思ふのであります。この點汪氏の政權が將來どういふ方向に進む見透しを持つてゐるか、一つの現實の基礎なしに見透しといふものは出来ない。この點を鈴木少佐に御話し願ひたい

と思ひます。

鈴木少佐 大體聖戰が不明徴になつて居るといふ噂が巷間に傳はつて居りまして、是を具體的に申したのが齋藤隆夫で、あゝ云ふ風なことになつて來た。これまで政黨の連中が色々と政府に質問して居るが、××××××(速記中止)

持尾利久 例の淺間丸事件など、あの淺間丸の事件の起る前に銚子の先の方面で六回位商船がやられて居ると云ふ様なことですが、色々考へて見ますと、こんな事件が続いて居る原因はどこにあるかと云ふことが問題になるわけです。尠くとも現在國策で決定されてゐる中央政權の本質は日本と協力して行くものであり、重慶政府は徹底的に攻撃しなければならぬものであり、その點ハッキリ區別しなければならぬ。しからば日本と協力すべき新政權と、日本が打倒すべき重慶政府に對する第三國の動向に依つて日本の外交政策も自ら定まる譯ですが、今の所明確にされて居らない。こう云ふ點に淺間丸事件等の起る原因があると思ふのです。なほ重慶政府といふものは、國民的感情から云つても、精神から云つても徹底的に倒さなければならぬものですが、日本の總理大臣は、

内の力の弱さが影響して居る。この様な情況であり三民主義や、青天白日旗の事も八益しく云はれが、之等を、永い間の間違つた教育を直すには永年の年月を要するので今日すぐにはどうも出来ぬ。それでだん／＼と近付いて行くのが得策である。要は日本の力を發揮する態勢を作ることだ。そして支那の抗日意識や教育等の色々の點を觀察した時に、眞に日・滿・支の提携を望み得る様に立至らしむるには二、三十年でも無理かも知れない。

●現地方面の動向と齋藤問題

柳町茂道 先程から色々御話を承はつて居りますが、結局事變處理といふことの話ですが、既に聖戰四年にして彼の認識不足なる齋藤輩が出るといふことは、これは齋藤一人のみならず國民の大部分がそういう認識を持つて居るのではないかと私は考へて居る。で私はこんな認識不足の聖戰觀を是正するには如何なる手段を講じたらよいかと考へてゐるのですが、この弱肉強食的な帝國主義者、所謂東亞新秩序建設の妨害となるものは、どうしても排除しなければならぬ、さう云ふ點は斷乎政府が壓

へる可きだと思ふのです。始めから、その方策で進んで居つたならば聖戰四年にして認識不足の者は出て来ないのではないかと思ふ。先程の鈴木さんの御話はよく判るのですが、要するにもつと精神的なもの、そういうものに依つて抹殺しなくては新東亞の建設は出来ぬと思ひます。

鈴木少佐 新東亞建設を妨害するものは何處までもやつけるのです。

柳町茂道 結局我々が考へるのは強力政治でもつて除くわけです。

鈴木少佐 結局あらゆるものを動かすものは、その原動力は政治に違ひないので、私は國內思想戦が一層重大だと考へる。××××(速記中止)

◎註、この間、柳町氏他二三氏と鈴木少佐の意見交換あれど速記中止。

松村正義 鈴木少佐に御伺ひいたします。所謂新中央政權が出来るのは東亞新秩序建設の第一段階といふことですが、さういふことより今はまた内憂を憂へなければならぬと云ふ、先程云はれたように其の點同感です。私は昨年一寸支那に参つた者ですが、向ふに行つて色々の人々

に會つて話を聞いて見ると却つて解せない點が出て来る、といふのは中央政權を樹てるのは事變處理の一段階といふが、果してそうであるかどうか疑問と思はれる。どういふ點が解せないかと申しますと、中央政權を打ち却つて修正出来ない結果になる。専門的に見ても修正出来ないと思ひます。

鈴木少佐 修正して居るのですがネー。

松村正義 その意味に於て、日本の理想と相容れないものがあるように思はれるし、さういふものが相當強く反響されて居る。中央政權もそれは勿論支那の民衆に呼びかける言葉として必要かも知れないけれど、どうもさういふ點が背けない。中央政權を打ち樹て、所謂第二の足場を築くために當然出て来る問題です。——どうもさういふ點、新中央政權を樹てるために第三國との國交を悪くしてゐるし、例へばあの揚子江開放の問題などにも關聯して来るであらうし、却つて新政權は東亞新秩序建設のために不利益になるようになって居る。さうなると汪兆銘そのものに××××××なるような感じはありはしないでせうか。

鈴木少佐 揚子江開放の問題は、汪政權との關係よりも、アメリカ關係、イギリス關係が重要な問題でしょう。松村正義 例へば誰が行つても、租界問題は第一に矛盾を感じる。現在では治安もあの通りですか、さういふことと思ひ合せて或る程度東亞新秩序を建設し得る迄に國內の色々な諸問題とそれから對外的なものが一致して行けるかどうか甚だ疑問です。我々は却つて中央政權をこしらへるために、將來二進も三進も出来ない破目になつて行くかも知れないような気がしますがネー。

鈴木少佐 だから總括的に申し上げますと、大體支那に展開された程度の日本の力は現状維持のまゝの力であると思つてよい。いくら軍が頑張つても國民の氣分が力を出すようになつて来なければならぬと思ふ。

松村正義 そこで國內の革新運動が起つて来るのです。××××××(速記中止)

鈴木少佐 ××××××……。しかしそれは或る時期まで聖戰の意義を明かにせなかつたからではないですか。汪政權との條件と申しますか、そうしたものを全く發表しなかつた。特に外國流の戰爭觀を持つて居る人には聖戰の意義がハッキリしてゐない。そうしたことが次

第に國民精神全體を不安定にした。その結果、×××××
×××を得るような傾向を招来したのではないかと思ひま
すが。そこで汪政権を樹立することによつて、和平がま
とまるのではないかといふ希望の手傳つた判断が禍をな
して居ると思ふ。又これによつて國內革新を止めたいと
いふ希望が國民を誤れる方向に誘つてゐるのではないで
しょうか。けれどもこの事變と結びつけて改新を行はな
いと仲々革新は出来ないのです。結局は煎じつめると思
想問題です。何しろ五十年から培かはれた個人主義の思
想ですが、それが禍をなして結局斯うなつて來てゐるの
です。

◎國民精神昂揚の方途と態度

持尾利久 國防國家の完成といふ意味から、方法論的なも
のでなく、國民精神を緊張させるためになにか出來ると
よい。例へば英ソ共討つてしまふのだ、いつまでも日本
はやるのだといふ決定の上に國民の力を打ちたて、いつ
た方がすべて國民精神を高揚させることになると思ふ。
そういう意味から國內の革新をすゝめ、國防國家を建設
する上から今の様な歐米的なものを覆滅させる。根本的

なものを目の前に置けばよいのではないですか。現實の
上に國防國家を建設する、しかしそれを完全にするた
めの方針を樹てる。東亞新秩序建設のためには妨害する
勢力を徹底的に討つのだと云ふ建て前をとつて進んで行
くべきかと思ひます。

鈴木少佐 さういふなんと云ひますか犬の遠吠えでなく行
けばよいと思ひます。そこまで眞剣にやる構へをする。
さうすると全面的革新だね。

持尾利久 さうです。即ち國內革新の目標を示す。

鈴木少佐 さういふ目標を示すのも結構です、が、犬の遠
吠へにすぎないのではないかと考へられる。例へば獨逸
があれだけネバリ、あゝなるまでには實力の増強を第一
とし、實力に應ずる要求を逐次提出して來たのだ。さう
して、英佛兩國が獨逸を世界戦争であれだけ生殺しにし
たまふでわたのは英國の外交政策の現れであり且つお互
ひが白人種であつたからである。日本人は一人有色人種
で日本が犬の遠吠へをやるのはそれは實力が伴はずにや
るのは餘程考ふべきだと思ふ。

◎註 この間、持尾氏と鈴木少佐の意見の開陳、あれ共速
記を中止す。

船生利重 色々と有益なお話を伺つて居りますが、要する
に革新を如何にして漸行するかと云ふことに歸するもの
ですね。

氏名不詳 いま漸行の話が出たのですが、一寸その前に當
りまして歸還兵に對して軍當局はどの程度の御考へを持
つておられるか、といふのは過日歸還兵が參りまして、
自分達が戦地で聞いたときには内地には靴もないといふ
風に聞かされて居た、而るに上陸して初めに目についた
のは靴が目についた、靴は不足でないように思はれるし
自分は歸つて來て何が何だかサツパリ判らないと、こう
いふことを参考に言つたのです。さうすると戦地で教育
されてゐたこと、内地へ歸つて來て見たこと、違ふ、一
年も二年も應召してそれから還されて見て尙考へたこと
です。そして一般に緊張が不足してゐることなど、斯う
いふような點を御考究下さるならと思ふ。是は可成將校
の方々に影響するところあるのではないかと思へます。
それからもう一つ、それは急速に煽動主義化して居ると
思ひます、さういふ點から考へてそれは教育如何につい
てはよく調べて居られるのでしょうか。是は私の経験か
ら申上げたのであります、さういふ點について大體軍の

御意嚮なり御考へ方をお伺ひしたいと思ひます。

鈴木少佐 その問題は非常に重大な問題だと思ひます。軍
の方でも自分の範圍で出來ることはやつてゐる。歸還兵
が砲丸の下を滑つて來たのがそれがやつぱり國元へ歸れ
ば感ずるのです。しかし一度除隊歸郷したものは何處ま
でも見てやることは困難であるから、結局在郷軍人會の
手で見るとは仕方がない。またはその聯隊區司令部で
面倒を見て貰ふより仕方がない。

氏名不詳 ここまで軍の方で考へてゐられてどうにもなら
んとすれば他の方法でやらなければならぬと思ひます
が。

鈴木少佐 それは充分判つて居ります。

摺建一甫 是は、先程の話の中で度々話されたように、要す
るに精神思想の問題ではないかと思ふ。軍當局がもう少
し深く考へて、進むべき道を根本的に確立して行かなけ
ればならないに不拘、例へば五、五事件以來政黨を排撃
した軍が、いつの間にか政黨から政務官をとつてこれと
提携妥協したような態度を示す。または先般のように、
支那事變處理のためにと政黨の總裁に頭を下げて入閣を
懇請する、處が、亦先日齋藤問題が起ると軍が聖戰完遂

の立場から亦政黨排撃の氣勢を示す。こういう風に乗るの
政黨に對する態度が妥協したり排撃したりで、その思
想的基準については何等明確にされてゐないように見受
けられる。どうもその場で變化するように思はれ
てならないのです。亦これは軍當局ばかりの話ではあり
ませんが、維新的立場から革新運動に投じてゐる人々を
敬遠して、その運動までも抑壓してゐるような風に見え
る。而と向つて會つた時は甚だ同感なような態度でゐら
れるけれど、いざ具體的な運動といふことになるやう
うまく行かない。政黨排撃運動は議會中はいけない。政
黨の感情を刺激して當局が困るといふ意味合かららしい
ようですけれども、私共がこんなことを考へて参ります
と個々には非常に考へた人々がおられるようですけれど
も、全體としてのまとまりがついてゐない、即ち各部各
方面に指導的原理を失つてゐるように見受けられるので
すがネ。

鈴木少佐 いや本當の信念で革新を唱へてゐる人は人の中
にもゐる。また例へば近衛内閣のときにも革新を唱へて
軍と協力した人も居り、内閣が變つて今日の米内閣の
幹部で革新の根本方針を持つて居るといふような人も相

——こんなハツトリした態度で現はれた問題をつかまへ
てきゆいと論てしまふ、理屈でなく、あの問題なぞ軍が
再考慮して今一度やるべきです。

鈴木少佐 發表されたものは齋藤の演説をしたものゝ大體
三分の一ですがね、一番大事なものは發表されない。
竹本調査官 色々具體的な場合に、眞の勇氣を持つことが

大切と思ひます。それと共に我々として考へなければな
らぬことは結局革新勢力が早く出来て政治の指導力が確
立することではないでしょうか。今日色々革新といふこ
とについて軍の方や官僚と話して見れば良く判るが後で
見てゐるとどうも判らないといふ。然し實際考へて見る
と判つてゐる人だけ話をしてゐるのかも知れない——
(笑聲)——といふのは裏から申しますと今日の實際は何
れの方面にも非常に革新的なものを求めてゐる人と、そ
うでない人との勢力があると思はれる。民間においても
革新々々といふがそれ等勢力は果してどれだけあると思
ひますか。結局軍や官界の一部が先走つて、革新とか維
新とか叫んでも國民が全體として動かない間は駄目で
す。而も現實は不幸にして現状維持の人のパーセンテー
ジがわりに多すぎるといふことです。このパーセンテー

一四
當るのです。だから、それら本當の信念を持ち得る人
ならばいいのです。思想的には所謂個人主義自由主義で
なく、日本の國家主義又は日本の全體主義といふことに
なるわけです。(以下述記中止)

船生利重 現はれた問題はさういふ重大な問題ですから、
も少し軍部の力でなんとか出来ないものですか。あれは
軍の力を阻害するものであり、東亞の新秩序の邪魔をし
てゐるものですからその意味において、實際大罪を犯し
てゐる。國策に反してゐるし、斷乎として軍で處断する
のが當然です、あのまゝにして淺間丸式のようにウヤム
ヤにしては置けまいと思ふ、實際議論でなく結論を要求
する。

鈴木少佐 内閣といふものは時に矛盾した事をやることも
あります。しかし内閣に這入つた以上その方針に従はな
ければならない。また軍人はそれが非常に大事な道德で
す。いくら自分が立派に見えてゐても駄目、矢張それに
従はなければならぬ、是は軍人の道德なのです。色々
な關係からですが結局輿論を確立して行くべきです。
持尾利久 ですから齋藤隆夫問題なんです、一般から見
ますと齋藤隆夫は悪くないといふ風に見られてゐる。

ジをどうして今後少くするか、少くして行くかと云ふ大
きな問題があります。先程から色々な問題が議論されま
したことは大體結構だと思ひます。がそれと共に日本の
指導力となる革新勢力の出現が待望されます。それは徒
らに消極的論議より強くこういふ風にして行かねばなら
ないといふ消極的な指導的な政治勢力でなければならま
せん。
鈴木少佐 そういふ勢力が発達すれば改新は早くなるでし
ょう。

●維新と革新の相異性

氏名不詳 今の竹本さんの意見を大體綜合して見ますと今
の日本の國內状況はこれを革新と維新とに大別しなければ
ならないと見てゐる。而し所謂社會民主主義的な立場
に立つてゐるものでも、最近の新しい傾向を見ると盛ん
に革新々々と云つて居るし、東方會なんかのスローガン
や聲明書にも革新をあげてゐる。が維新といふものは絶
對のものだと信じてゐます。所謂明治維新に於て行はれ
た尊皇の大義、是が現在における日本維新の根本原理で
ある。これを國民大衆の意識に植えつけて大衆化して行

くか、どうか問題なので、實際うまく行くか、根本問題であると思ふ。

竹本調査官 結局黨派の問題。なくバランスのとれた革新、抽象論なんかはもう排撃して貰はなければならぬ。摺建・甫 しかし、日本の革新には矢張その原理があると思ひます。尊皇絶對、國體防護、この原理に基かない革新論は結局大勢順應、時局便乗の革新方略に過ぎないと思ふ。例へば明治御維新の時など、尊皇、討幕、夷攘と明確に先人が身を以つて調つてゐる。尊皇の眞理なくして討幕なく、討幕なくして維新なし、この原理は何時の時代にも變りはないと思ひます。天下の雄藩や幕府の方面も、尊皇の志は幾分かあつた、しかし攘夷が怖い、亦討幕がより以上怖い、必然的に起つて来るのは尊皇派の彈壓です。こゝに自己勢力によつて固められてゐるの現状を維持せんがためとはいへ、違勅の行動まで敢て犯した。——今日日本は東亞新秩序建設のために血みどろなる戦をしてゐる。今迄日本と仲の良かった獨逸が宿敵ソ聯と手を握る。また滿蒙國境ではソ蒙兵が越境して一大交戦をやりつつ中國共産軍を側面から援助する。蔣介石は依然として英・米に依存して抗戦をやつて居る。英・米は飽

一六

くまで日本の新秩序に反對せんとしてゐる。この状態を眺めるとき、日本が自主的立場を堅持して日滿支の提携、亞細亞民族解放を不變の國策として行はなければならぬのは理の當然です。しかし、それがためには先決問題としてどうしても日本自身が維新的な戦時體制を確立せなければならぬのは分り切つたことです。この理の當然なことが仲々行はれない。經濟を支配すべき政治が貧困、思想が混沌、例へば我々の運動に對する當局の方針もハッキリしてゐない。亦所謂維新陣營なるもの、中には現狀維持派の走狗になつてゐるように見らるゝものもあり、亦自家陣營維持のため互に相排擠し合つてゐるといふ状態ではいつまで経つてもどうにもならないような有様です。軍當局に一つの革新勢力があるとしても同じことで、結局これが決定力をもつてゐるわけでも同じ處で足踏みをしてゐる、さういふ點が矢張深く突つ込んで根本的に考へなければならぬ問題だと思ふ。——事變遂行の立前からいつても現在の英米依存の經濟體制や、外交對策を一日も早く脱却することであると思ひます。でないといふと英・米の國策の原則から見ても、事變解決の鍵を英・米に握られて居る結果、結局事變の進行や解決

が彼等の經濟的發展を推進するだけであつて、全くの話が泥沼に足をつゝ込んでゐると同じことといつても抜けない結果になりはせなかつたと思ひます。先程鈴木さんが話されたように新東亞を建設するのは五年かゝるか十年かゝるか判らないのでありますが、これ共これは矢張軍官民が眞に一體にならなければ出来ないとであると思ひます。そこに日本人として、日本としての基準が必要になつて来る、根本原理は先程申上げた如くであります、現實問題としては英・米の規範を脱する一つの目標を定めてハッキリすれば事變解決の第一歩たり得る。

鈴木少佐 一寸待つて下さい。私の云はんとするところは五年かゝるとか六年かゝるかも知れないといふのは、その點は基礎工作が五六年かゝるといふのです。

竹本調査官 何れにしても、政治や經濟の根本を時代適應的に建て直さなければ駄目だと信じます。古い機構の精神總動員だけでなく、新しい日本の政治經濟機構への總動員が急務だと思ひます。

摺建一甫 一寸話は變りますが、例の齋藤隆夫の問題ですね、あの演説の内容は日本の新聞には大部分削られて載

つてゐますが、外國の新聞には大々的に堂々と載つてゐます。しかもそれが日本に送られて来てゐるとすると、こゝいふものを發表した場合どうなるのですか。——平岡課長 それは議場の速記席から削除したものは絶對外には洩れないわけですが。——外國にいつた内容についてもよく検討して見なければ一概には云へないと思ひます。また今の處では外國に通信するのを止めることが出来ないので。

●三民主義是非論

佐橋尙政 汪政權の思想的基準、新東亞建設の思想的根幹はなんですか。

鈴木少佐 新東亞建設といふことは日本の大陸經營が、支那事變に即應して具體化されたものです。

◎註、この間、佐橋氏と鈴木少佐との間に意見の交換あり共速記を中止す

佐橋尙政 八紘一字を指導原理とするといふ説はよく判り

ました。そこで今度創立される中央政權は三民主義でやることになつて居りますが、三民主義に對する御意見はどうです。勿論之を修正すると申されるでしょうが如何に修正出来ますか。

鈴木少佐　そこが非常に問題なのです。三民主義を修正するといふことは支那人の思想を修正することになる。文書の上で修正しても直ちに思想は直らない。そこで支那人は如何なる思想を持つてゐるか。支那人の知識階級は殆んど個人主義で知識人はほんのわずかです。支那においても満洲においてもです。インテリ層はわずかです。それは金持の中にある。大體ミツシヨンスクール教育を受けた人々です。これを叩き直して行かねばならない。それには半年や、一年、三年、五年位ではどうにもならない。であるから三十年位の計畫で文化工作を進めなければならぬ、さういふ點から言つても日本の文化の力は未だ足りない。

佐橋尙政　今日この三民主義を容認するといふことは、この頃、國內で反國體的であり、反軍反戰的思想であるとして排撃されてゐる社會民衆主義の再現であるとして大きな矛盾が起きて來はしないでしょうか。

鈴木少佐　國內のですか。

佐橋尙政　先程も大陸政權の思想原理は皇道であり、又は政治も經濟も先づ思想が中心で最も大切であると云はれた様ですが、此度、軍が推進力となつて創立されんとする新政權は日本とは絶対に相容れん民主主義でもいゝといふ事は眞におかしいではありませんか。

鈴木少佐　いや、問題はおのずから別に考へなければならぬ。三民主義を認めたから軍や國民が何んとかなるとかいふことでなく、個人主義では是は出来ないといふ様な別な考へ方であればならない、それで何も今日の段階において支那人の理解出来ない三民主義を押しつけたところで仕様がなぬ。直して行かなければならない。

◎註一この間佐橋氏と鈴木少佐の意見發表あれども速記中止
佐橋尙政　分離觀を根とし、唯物論を幹として結實したものが民權、民主、民本そのまゝの近代思潮であります。これ等の思想は全體觀の日本主義とは相容れないのみならず、東亞を一つにした新しい秩序を建設するといふ國策に反するものではありませんか。

鈴木少佐　だからそこまで行けば三民主義の建て直しをや

る、形式上はやつて行かなければならぬし、北支では最早や新民主主義が出來てゐる。その北支は新民主主義で生きてゐる。いまそつといふ段階にあるのです。

◎事變下左翼運動の潜行

司會者　色々なお話をお伺ひ、あらゆる點から検討しまして、結局國內維新の顯現なくしては事變の根本的な解決は得られないとの結論に達したように思はれます。

話が一足飛びになるようであります、その維新顯現を冀求する日本主義運動に對する當局の方針といふものに就いて青木さんに簡単に御話し願ひたいと思ひます。

青木課長　改まつて御話しする必要もない事だと思ひます。今日、日本の現状は誰が見てもこれで良いと思ふものはあるまい。只利害の關係から現状に固着するといふのが大多數ではないかと思ふのです。支那事變の處理も第三國との國交調整も要は日本國家がしつかりせねばならぬ、本を正さずして末を望むことが出来ない、隨つて皆さんの意見と同様私は國家の革新が唯一絶対に必要な生決條件だと考へてゐる一人です。

隨つて國內の革新を標榜する革新陣營に對して、無茶な彈壓をしようなどは毛頭考へてゐない。これは阿倍總監なども今日の革新陣營に對する警察の態度として、近藤勇の先轍を踏むなといつてゐることもわかる事だと思ひます。

しかし、これは取締りの一般原則であつて、今日、革新團體を標榜して居るものを尙仔細にみるときは、その根本理念においてすべてが皇道に則したものでばかりでもないし、又その主張政策において盡く適當なものとは考へないのです。この場合において吾々は、皇道理念より又政策理念より之に對して或程度の取締りをなさねばならないのは極めて當然であると思ひます。只政府の政策に時にあつて必ずしも時宜に適するものばかりではないので、場合によつては革新陣營の言ふことの方が正しい場合があり得る。この場合吾々が革新陣營と一緒になつて政府を弾劾して然るべきかといふと諸君はむしろ之を望むかも知れないが決してそういふものではない。吾々は役人であつて、陛下の組織し給ふ一定の組織の上に職務を遂行して居るのであつて、此の意味で政府も亦吾々の上部組織なんです。隨つて吾々の意見といふものはこ

昭和十五年三月二十五日 印刷
昭和十五年三月二十八日 發行

【非賣品】

發行兼
編輯人

前川常夫

印刷者

近藤喜七

芝區西久保巴町三十番地

印刷所

順弘社印刷所

芝區西久保巴町三十番地
電話芝二八九〇番

發行所

鶴鳴莊出版部

東京市麻布區材木町七十五番地
電話赤坂(4)一八四六番
振替東京一三六一六八番

401
278

終